



プラス セーフ

+Safe通信

(小売業・第2号)

令和7年4月発行

事務局: 富山労働局健康安全課
電話 076-432-2731

富山小売業+Safe協議会

【構成員】 アルビス株式会社

株式会社大阪屋ショッブ

富山県商工労働部労働政策課

富山県商工労働部経営支援課

富山県商工会連合会

「富山小売業+Safe 協議会」とは

転倒、腰痛等の労働災害が増加傾向にある小売業について、県内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員として、令和4年度から開催しているもので、構成員が取り組んでいる労働災害防止に向けた好事例を同業種に周知することなどにより、労働災害の減少を図るものです。

令和7年2月4日、富山労働総合庁舎（富山市神通本町）において、令和6年度第2回「富山小売業+Safe 協議会」を開催しました。

協議会では、富山労働局担当者による労働災害の現状に関する説明のほか、協議会における今後の取組等について意見交換を行いました。



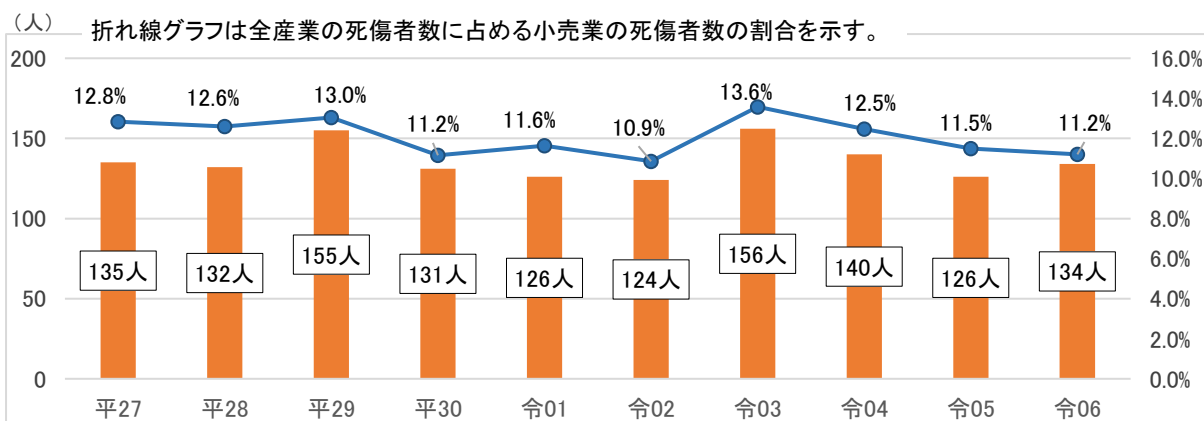
■ 構成員の意見、協議内容等

- ・「労災を減らしたい」という思いはあるが、ちょっとした不注意での転倒や指先を切るなどといったものが多く、いかにしてこうした労災を減らしていくかが課題である。
- ・本協議会の主旨を踏まえ、「小売業で多発している労災の防止についてみんなで考えよう」という点をより前面に打ち出すべきではないか。
- ・より多くの事業者と意見交換する中で、新たな発見があるかもしれない。

協議会での議論を踏まえ、今後協議会として構成員の拡大に取り組んでいくことを確認しました。

富山県内の小売業における労働災害発生状況

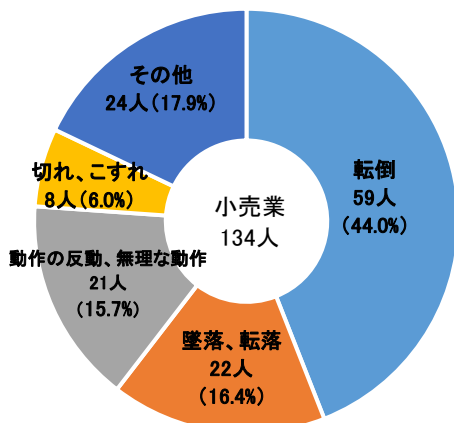
○休業4日以上[※]の死傷者数[※]の推移（過去10年間） ※新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害を除く。



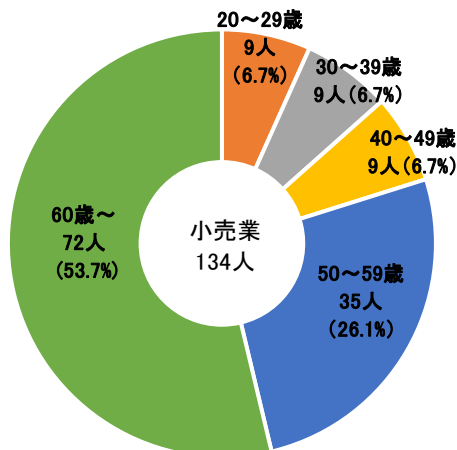
・過去10年間にわたりほぼ横ばいで推移しており、減少傾向がみられません。

- ・事故の型別では、濡れた床面等での「転倒」が最も多く、次いで脚立等からの「墜落、転落」、腰痛をはじめとする「動作の反動、無理な動作」が続いています。
- ・年齢別では 60 歳以上が圧倒的に多く、加齢に伴う身体機能の低下や骨折リスクの高まりが原因とみられます。

○事故の型別死傷者数(令和6年)



○年齢別死傷者数(令和6年)



富山労働局は各企業に「SAFE コンソーシアム」への加盟を呼びかけています！

2022年6月に厚生労働省が設立した、労働災害防止の取組を進める活動体。「Sefer Action For Employees」を旗印に、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指して取り組んでいます。



令和6年度
SAFE アワード
受賞事例



ゴールド賞
株式会社ベルク

「レジ椅子」の導入による身体的負荷・精神的負荷の軽減

ベルク「レジ椅子」の導入による身体的負荷・精神的負荷の軽減

背景（課題・ニーズ）

スーパーのレジでは、長年立ちながらの業務を行うことが基本となっており、長時間作業による足腰などの身体的な負荷の他、精神的な負荷が小売業の課題となっていました。そこで「座ってもいいんじゃないか？」という発想が生まれ、改善に取り組みました。

取り組んだプロジェクト内容

まず椅子の選定から取り組みました。条件として①安定感がある ②高さの調整が出来る ③長時間座っていても疲れにくいなど主に3つありました。いくつもの椅子を試した中から、条件を満たした現在の椅子を選定し、2023年12月より実験運用を開始しました。また、椅子の設置と同時に、より作業をしやすくするため、レジ台の改修も合わせて実施しました。



事業者名：株式会社ベルク
業界・業種：小売業
従業員規模：約17,500人
地域：関東／埼玉



やってみての効果

当初は戸惑いの声が少なからずありましたが、導入から1年を迎えるにあたり、レジ椅子を使用する従業員にアンケートを実施しました。その結果、身体の負担の軽減を感じている従業員が全体の約70%、ストレス・精神的負担の軽減を約56%の方が実感しています。また身体の負担が軽減した箇所としては、足（下部）が60.3%、腰が54.7%の方が軽減を感じている結果となりました。今後も従業員の声を聞きながら改良を進め、全店に拡大していきたいと考えております。

【レジ椅子導入アンケート実施】 身体の負担が軽減した箇所（複数回答）※回答者247人



「腰」と「足（下部）」
の負担軽減が多い